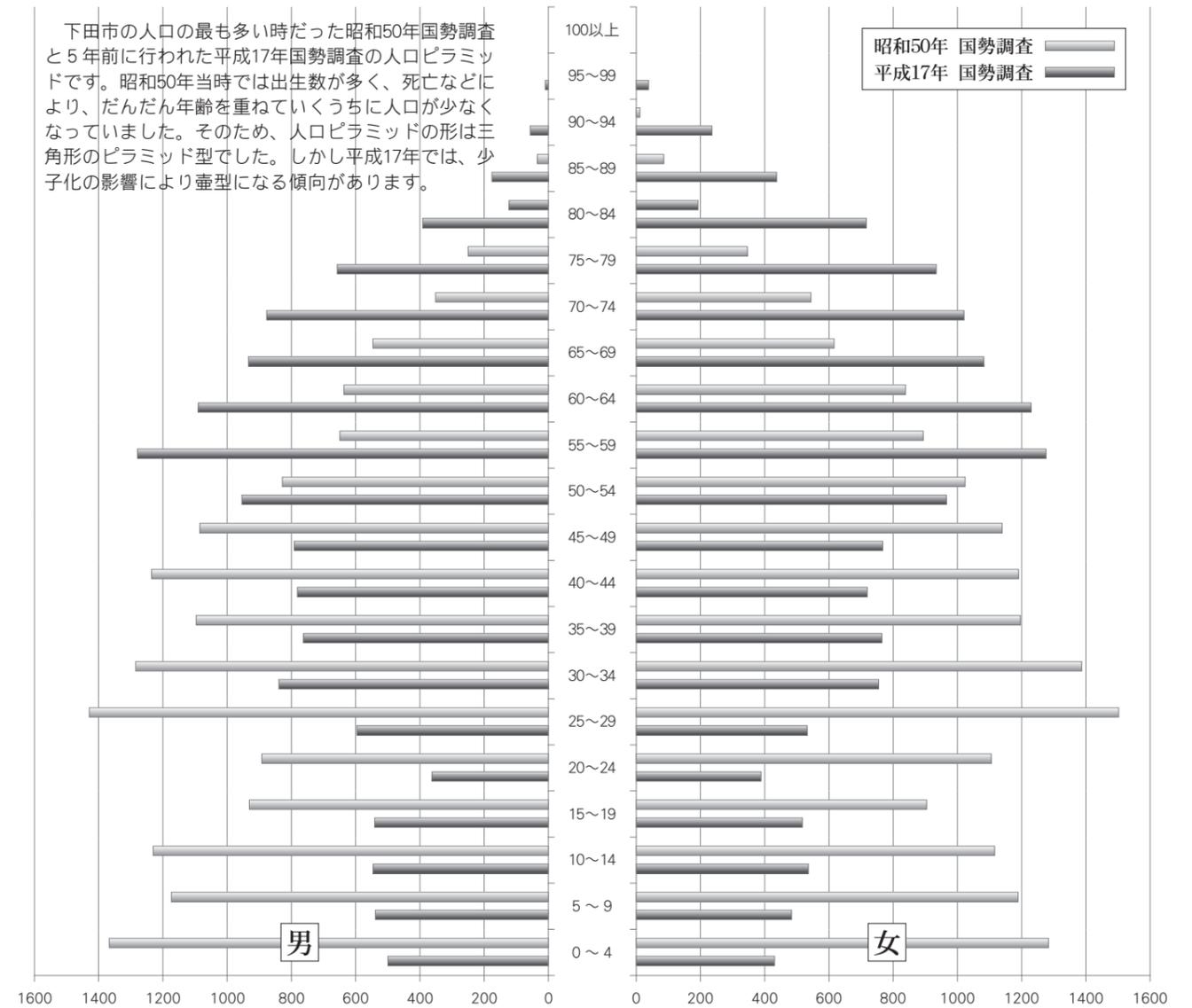


# 平成22年10月1日 国勢調査を実施します

国勢調査は、日本に住んでいるすべての人が対象になる調査です。  
今の日本を知るうえで大切なこの調査に、皆様のご理解とご協力をお願いします。



## 5年に1度の国勢調査

国勢調査は、日本国内の人口、世帯、就業者からみた産業構造などの状況を地域別に明らかにするために行われる国の最も基本的な調査です。この調査は5年ごとに行われており、今年(平成22年)に行われる調査で19回目になります。

平成22年国勢調査は、日本が本格的な人口減少社会となつて実施する最初の国勢調査であり、各方面から日本の未来を考えるために欠かすことのできない統計情報を提供するものとして期待されています。

## 調査の行われ方

国勢調査は10月1日を基準日として全国一斉に実施され、調査員が9月中旬から10月上旬にかけて訪問させていただきます。

住民票などの登録情報に関係なく、平成22年10月1日現在、普段住んでいる人(普段住んでいるとみなされる人を含む)すべてを普段住んでいる場所で、世帯ごとに調査し

## 国勢調査員

調査票を配付、回収する国勢調査員は、市町村長の推薦により総務大臣が任命する非常勤の国家公務員です。調査員が世帯を訪問する際は顔写真を貼付した『国勢調査員証』及び『国勢調査従事者用腕章』を身につけています。国勢調査員を名乗った偽調査員には、十分注意してください。

## 調査への申告義務

もし、調査票が提出されなかったり、正しい申告がされなかったりすると、誤った統計になってしまいます。国勢調査では、統計法という法律の中で申告義務についての規定があります。つまり、国勢調査に参加することは私たちの義務の一つとなっています。

## 国勢調査の起源

国勢調査の原型は明治12年につくられました。第1回の国勢調査は大正9年に実施され、26万人の調査員が従事しました。それ以降、国勢調査は5年ごとに大規模調査と簡易調査を交互に実施しており、今年度の国勢調査は大規模調査の年となっています。

## 個人情報の秘密厳守

国勢調査は、統計法等の規定に基づいて行われるため、その規定は調査する人にもされる人にも適用されます。調査を受ける人には申告が義務付けられていますが、その一方で、調査する人などが調査結果を他に漏らしたり、調査票を統計作成以外の目的に使用することは固く禁じられています。

## 調査結果の集計と利用

調査票の集計は、独立行政法人統計センターで集計され、人口や世帯数の速報は平成23年の2月頃公表されます。その他の集計結果はそれ以降順次公開され、報告書は都道府県、市町村の統計担当課や図書館で見ることができます。また、この調査の結果は、だれでも利用することができます。

## 問合せ先

また、日本の国勢調査と同様の調査は、約200の国・地域で行われています。これらの国・地域の調査結果は、国内外の行政の基礎資料として利用されるだけでなく、諸外国と比較することも、国際的な視点から重要な統計の利用法となっています。

### 静岡県人口当てクイズ

静岡県では、国勢調査に多くの人の関心を持ってもらうために、「平成22年国勢調査 静岡県人口当てクイズ」を行います。国勢調査の結果、平成23年2月ごろに発表される静岡県の人口(速報値)を予想して、クイズに応募して下さい。旅行券やふじのくに農芸品(特産品)など豪華な賞品が当たるかも…。(※ヒント 前回調査3,792,377人)

**応募方法**  
クイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を記入して、ハガキ、メール、インターネットのいずれかから応募して下さい。(応募は1人1回限り)

**締切日** 10月7日(木)  
※詳細は、専用チラシやインターネットでご確認ください。

**応募・問合せ先**  
〒420-8601 静岡県葵区追手町9番6号  
静岡県企画広報部統計調査課人口当てクイズ係  
☎ 054-221-2239  
E-mail:22jinkou-quiz@pref.shizuoka.lg.jp  
URL:http://www.pref.shizuoka.lg.jp/kikaku/ki-350/2010jinkou-quiz.html

### 下田市の人口重心(注)はどこにあるの？

平成17年国勢調査のデータをもとに総務省統計局が取りまとめた下田市の人口重心は、東経138度56分19.19秒、北緯34度41分06.26秒となっており、これは西本郷三丁目周辺の位置にあります。  
(注)人口重心とは、人口1人1人が同じ重さを持つと仮定して、その地域内の人口が、全体として平衡を保つことのできる点をいいます。